

## 命を守るため着用の徹底を —シートベルト・チャイルドシート着用に向け街頭啓発—



シートベルト・チャイルドシートの着用の徹底を呼びかける

六月一日、南丹市園部町の宮町交差点で府域一斉シートベルト・チャイルドシート着用府民運動の街頭啓発が行われました。京都府では交通事故による死者が前年と比べ増加しており、自動車乗車中のシートベルト非着用による死亡事故も起こっています。

この日は、南丹市交通指導員や南丹船井交通安全協会南丹支部の役員、南丹警察署署員、南丹市役所職員ら十一人が、道行く車にシートベルトとチャイルドシートの着用の徹底を呼びかけました。



それぞれの鉢に丁寧に植え付けました

### 世界に一つだけの花を —交流の花咲くふれあい事業—

六月十日、南丹市八木公民館で、障害の有無にかかわらずさまざまな体験を通して親睦を深める「ふれあい交流事業」が行われました。八木公民館障害者成人講座との共催で、南丹市になって初めての取り組みとなりました。視聴覚に障害のある方や、市内の子どもたちとその家族、ボランティアの方々など五十人が参加し、五種類の花苗を思い思いに寄せ植えしました。植え終わった花鉢を前に、全員で「世界に一つだけの花」を歌いました。



南丹市婦人会の取り組みが決められました

### 新しい時代の組織作り —南丹市婦人会設立総会—

六月二十四日、南丹市婦人会設立総会が南丹市日吉支所市民ホールで行われました。

総会では会長の前田三子さんが、地域に貢献できるように自らの向上に努めるとともに新しい時代にふさわしい組織作りを進めていきたいとあいさつをされました。

また、平成十八年度の事業計画や予算が協議され、支部ごとの特色ある活動を維持しながら、各支部間の交流を深め、会員相互の輪を広げるための取り組みが決められました。



市長から花を贈られる船越きぬさん

### お元気で長生きを —白寿のお祝い品を贈呈—

日吉町志和賀の船越きぬさん(明治四十年四月二十八日生まれ)と、日吉町胡麻の塩貝きくさん(明治四十年六月十五日生まれ)の二人が満九十九歳の誕生日(白寿)を迎えられたのを祝い、お祝い品とお祝いが市長より贈られました。

船越さんは新聞を読まれることを日課にされ、耳が聞こえにくくなったことを除いては、お元気で家族に囲まれ過ごされています。これからも健康に留意され、お元気で過ごしてください。